

『第19回レスキューロボットコンテスト』における 消防庁長官賞の授与について

総務課・消防研究センター

レスキューロボットコンテストの開催について

令和元年8月10日（土）から11日（日）の日程で、神戸サンボホール（兵庫県神戸市）において第19回レスキューロボットコンテスト競技会本選が開催されました（消防庁特別共催）。

6.30	14.90	7.7	14.90	8.10	10.90	8.11	10.90
イオンモール舞山	(前) 17.50	舞鶴駅前	(前) 17.50	神戸学芸ホール	(前) 17.50	神戸学芸ホール	(前) 17.50
入場無料		入場無料		入場無料		入場無料	

第19回レスキューロボットコンテストのポスター

レスキューロボットコンテストとは

日本におけるレスキューロボットの研究は、平成7年の阪神・淡路大震災から得られた教訓を踏まえ、様々な技術的課題に関する検討が行われてきたところです。

レスキューロボットコンテストは、参加者が製作したロボットを操作し、がれきに埋もれた人を救助するなどの課題に取り組むことで、レスキュー活動の重要性や難しさについて自ら考えとともに、将来的にレスキューロボット等の消防防災活動で活用する資機材の開発に携わるような技術者を育成することや、災害に未然に備えること及びレスキュー活動の必要性について広く周知することを目的としています。

消防庁長官賞の受賞チーム

今回コンテストの消防庁長官賞については、「速くて (Speedy)、確かな (Secure)、優しい (Soft) 救助」をコンセプトにレスキュー活動を行った「とくふあい！（徳島大学 ロボコンプロジェクト）」が受賞し、消防庁消防研究センターの長尾一郎所長から表彰状と盾が授与されました。



消防庁長官賞を受賞した「とくふあい！」
(徳島大学 ロボコンプロジェクト)
※前列左から3人目 長尾一郎 消防研究センター所長

本チームは、3体のロボットを用いて、上空からの情報収集と、陸上でのがれき除去や救助活動を円滑に行うことをコンセプトに掲げ、実際に迅速で正確なパフォーマンスが実現できていました。

また、要救助者のトリアージを想定した、レスキューダミーの個体識別が各競技を通して高得点であった点も高く評価され、消防庁長官賞を受賞することとなりました。

コンテスト当日の詳細については、レスキューロボットコンテスト公式ホームページ <https://www.rescue-robot-contest.org/19th-contest/> をご参照ください。

問い合わせ先

消防庁総務課（消防技術政策担当） 四維、佐藤
TEL: 03-5253-7541